

舞鶴市舞鶴幼稚園・多門院・余部上地区の 資料調査

水野 拓也

1. 2016 年度文化情報学ゼミの舞鶴調査

文化情報学ゼミでは、地域貢献型特別研究（ACTR）「丹後の海」の歴史・文化に関する総合的研究（研究代表者：藤本仁文）の事業として舞鶴での調査をおこなっている。今年度は8月6・7日、12月26・27日の2回舞鶴での調査をおこなった。主な調査内容は、舞鶴市立舞鶴幼稚園や多門院地区・余部上地区に保存されている文書・歴史資料の整理などである。

2. 舞鶴幼稚園資料整理

舞鶴幼稚園資料は、昨年度に資料目録が完成した（『舞鶴地域の文化遺産と活用』京都府立大学文化遺産叢書 11、2016 年掲載）。今年度は、市指定文化財の指定・登録に向けた作業をおこなった。

3. 古文書の資料整理

資料整理は、主に多門院地区・余部上地区に保存されている古文書（多門院区有文書、近世庄屋文書）を対象とした。作業としては、古文書資料の写真撮影や目録の作成をおこなった。調査には学生の他に舞鶴市郷土資料館小室智子氏の協力のもと、舞鶴地方史研究会の方々も参加されていた（写真 1）。実際の古文書に触れることに加え資料整理における知識や調査をおこなう上でのコミュニケーション能力が向上したと感じられた。

さらに多門院地区では、古文書の資料整理のあと地区内文化財の紹介などもしていただき、多様な地域の歴史について触れることができた（写真 2）。



写真 1 多門院地区の資料整理



写真 2 多門院地区の文化財見学